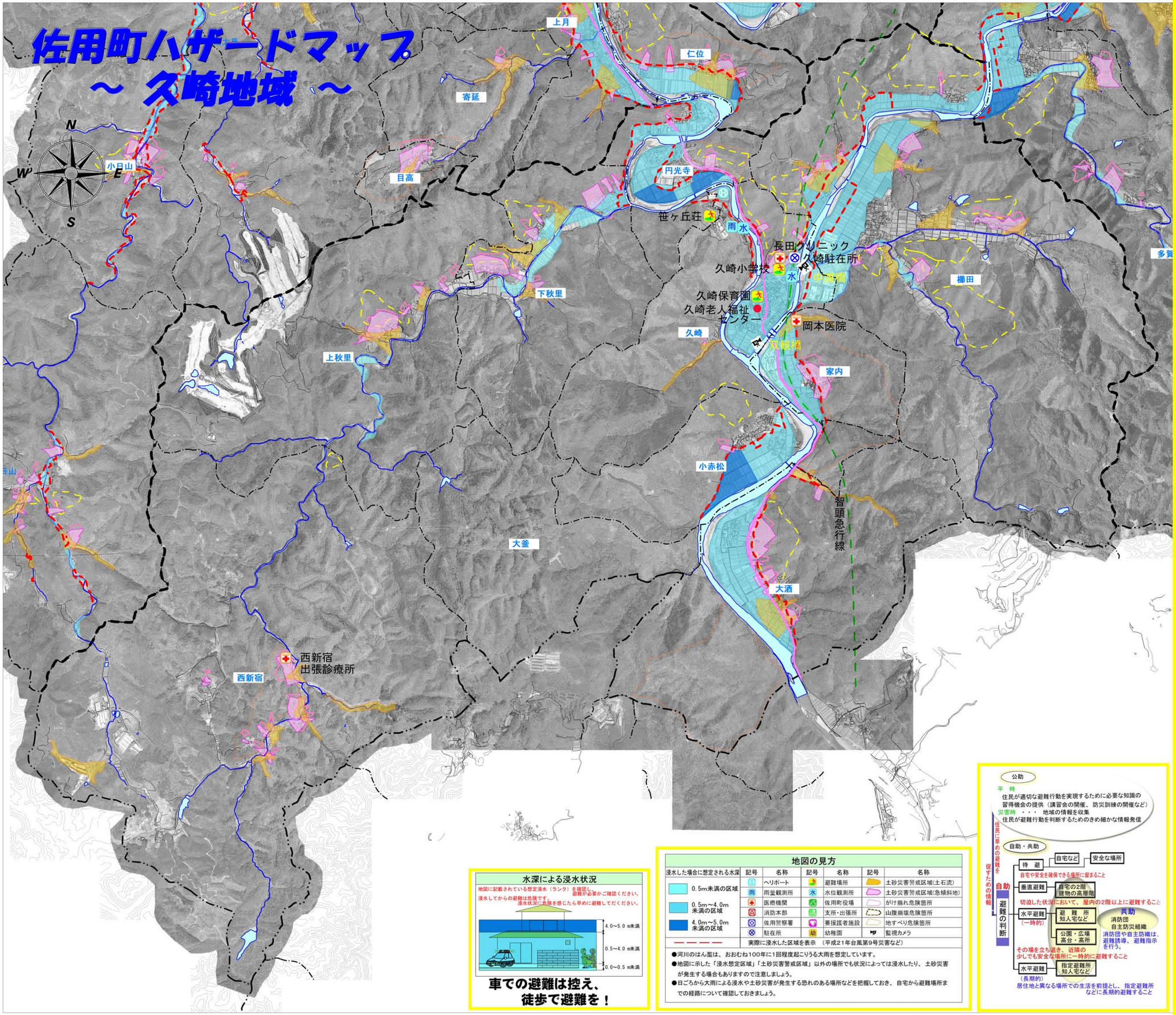
佐用町ハザードマップ
～ 久崎地域 ～



水深による浸水状況

地図に記載されている想定浸水（ランク）を確認し、避難が必要かご確認ください。
浸水してからの避難は危険です。浸水状況に危険を感じたら早めに避難してください。

車での避難は控え、徒歩で避難を！

地図の見方

浸水した場合に想定される水深	記号	名称	記号	名称	記号	名称
0.5m未満の区域		ヘリポート		避難場所		土砂災害警戒区域(土石流)
0.5m～4.0m未満の区域	雨	雨量観測所	水	水位観測所		土砂災害警戒区域(急傾斜地)
4.0m～5.0m未満の区域		医療機関		佐用町役場		がけ崩れ危険箇所
		消防本部		支所・出張所		山腹崩壊危険箇所
		佐用警察署		要援護者施設		地すべり危険箇所
		駐在所	幼	幼稚園		監視カメラ
		実際に浸水した区域を表示 （平成21年台風第9号災害など）				

●河川のはん濫は、おおむね100年に1回程度起こりうる大雨を想定しています。
●地図に示した「浸水想定区域」「土砂災害警戒区域」以外の場所でも状況によっては浸水したり、土砂災害が発生する場合もありますので注意しましょう。
●日ごろから大雨による浸水や土砂災害が発生する恐れのある場所などを把握しておき、自宅から避難場所までの経路について確認しておきましょう。

公助

平　時
住民が適切な避難行動を実現するために必要な知識の習得機会の提供（講習会の開催、防災訓練の開催など）

災害時　・・・　地域の情報を収集
住民が避難行動を判断するためのきめ細かな情報発信

住民に早めの避難を促すための情報

自助・共助

自助

- 待　避 → 自宅など → 安全な場所
  自宅や安全を確保できる場所に留まること
- 垂直避難 → 自宅の2階 建物の高層階
  切迫した状況において、屋内の2階以上に避難すること
- 水平避難（一時的） → 避難所 知人宅など / 公園・広場 高台・高所
  その場を立ち退き、近隣の少しでも安全な場所に一時的に避難すること
- 水平避難（長期的） → 指定避難所 知人宅など
  居住地と異なる場所での生活を前提とし、指定避難所などに長期的避難すること

共助
消防団
自主防災組織
消防団や自主防災組織は、避難誘導、避難指示を行う。

避難に役立つ情報

》河川の水位状況を入手しよう

◆国土交通省「川の防災情報」
http://i.river.go.jp/
右のQRコードを携帯電話で読み取って、アクセスしてください

◆国土交通省・防災情報提供センター
リアルタイム雨量、観測情報など
http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/

◆千種川流域河川情報システム「水守」
http://www1.winknet.ne.jp/~kasen01/ktai.html
右のQRコードを携帯電話で読み取って、アクセスしてください

◆気象庁
防災気象情報、天気予報、天気図など
http://www.jma.go.jp/jma/index.html

》いざというときの連絡先

佐用町役場	0790-82-2521
上月支所	0790-86-0331
南光支所	0790-78-0101
三日月支所	0790-79-2981
警察 事件・事故の通報	局番なし 110
消防 火事・救助・救急	局番なし 119

》さよう安全安心ネット

気象情報や防災情報などの緊急情報が携帯電話やパソコンメールに届きます

まずは登録から ①か②の方法で
①「さよう安全安心ネット」にアクセス
http://bosai.net/sayo/
②QRコード読み取りによるアクセス

メールで届く情報
緊急情報メール
・大雨洪水警報
・地震情報
・避難情報など

》災害用伝言ダイヤル

地震など大規模災害発生時は、電話がつながりにくい状況が数日続きます。このような場合は、「災害用伝言ダイヤル」が開設されます。これは、『声の伝言板』（安否確認）の役割をする電話サービスです。被災地内やその他の地域の人々との間で伝言の録音・再生（確認）をすることができます。

●使い方
「１７１」をダイヤルし、音声ガイダンス（案内）にしたがって、録音・再生してください

伝言を録音する場合
171＋1＋自分の家の電話番号（市外局番から）

伝言を再生する場合
171＋2＋連絡をとりたい人の電話番号（市外局番から）

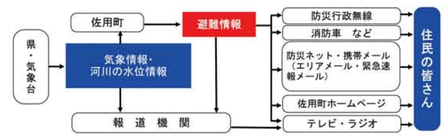
》災害用伝言板

大災害発生時、携帯電話「災害用伝言板」メニューから、文字による安否情報の登録・確認サービスが利用できます。登録されたメッセージは、インターネット接続可能な携帯電話やパソコンから確認できます。

避難に関する情報を知ろう

≫災害時における情報の伝わり方

町は、住民の皆さんに避難が必要と判断した場合、その緊急度に応じた避難情報を発表します。
災害における情報の伝達方法を知り、いざという時に適切な行動がとれるようにしましょう。



≫避難情報　と　とるべき行動

情報	避難準備情報	避難勧告	避難指示
避難情報	□避難の準備、または災害時要援護者が避難を開始するために発表するもの	□対象地域の住民に対し、避難を拘束するものではないが、住民がその勧告を尊重することを期待して避難のための立ち退きを勧め、または促すもの	□被害の危険が目前に切迫している場合等に発し、勧告よりも拘束力が強く、住民等を避難のために立ち退かせるもの
とるべき行動	●避難準備を整え、気象情報や河川水位などに注意を払ってください。 ●災害時要援護者などの特に避難行動に時間を要する皆さんは、安全な場所（近所の家、集会所、避難所など）へ避難行動を開始してください。	●お互いに助け合いながら、安全な場所（近所の家、集会所、避難所など）に速やかに避難してください。	●安全な場所（近所の家、集会所、避難所など）にすぐ避難してください。

※河川水位予測や降雨予測で避難勧告等を発令した場合、空振りが発生することはあります。
※夕方から夜間に向けての時間帯などでは、降雨の予想等によっては、基準水位到達前であっても、発令することがあります。
※切迫した状況においては、屋内の２階以上に避難することもありえます。
※避難勧告等は、河川状況や地域の状況などから総合的に判断して発令しますが、どのような状況でも必ず発令されるとは限りませんので、自主的に判断して避難所などの安全な場所へ避難してください。

≫雨の強さと降り方

※気象庁「雨と風の図」より

人の受けるイメージ

1時間雨量 10～20 mm未満	1時間雨量 20～30 mm未満	1時間雨量 30～50 mm未満
やや強い雨 ザーザーと降る	強い雨 どしゃ降り	激しい雨 バケツをひっくり返したように降る
地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	側溝や下水、小さな川があふれる	道路が川のようになる
	傘をさしていてもぬれる。	

1時間雨量 50～80 mm未満	1時間雨量 80mm～
非常に激しい雨 滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	猛烈な雨 息苦しくなるような圧迫がある。恐怖を感じる
マンホールから水が噴出する	大規模な災害が発生する恐れが強くなる
傘はまったく役に立たなくなる	

○注意報・警報の　発表基準
（神戸海洋気象台）

大雨注意報・洪水注意報	大雨警報・洪水警報	土砂災害警戒情報
１時間雨量　３０mm以上	１時間雨量　５０mm以上	大雨警報発表後、土砂災害発生の危険が高まった時

土砂災害警戒区域の見方

土石流
大雨により谷底にたまった土砂や、山腹から流れだした土砂が、水と混じり合って一体となり、谷を一気に流れ下りる現象

がけ崩れ
大雨で地面にしみ込んだ雨水により、急な斜面の土砂が崩れ落ちる現象

地すべり
斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象

こんな前ぶれがあったら、早めの避難

がけ崩れ
●がけからの水が湧き出ている
●がけに亀裂が入る
●小石がパラパラ落ちてくる

地すべり
●地面にひび割れができる
●沢や井戸の水が濁る
●斜面から水が吹き出す

土石流
●山鳴りや、腐った土の臭いがする
●急に川の流れがにごり、流木が混じる
●雨が降り続いているのに、川の水位が下がる